

しらね通信

発行:白根自治協議会

令和6年5月

第52号

39年の取り組みは永遠に !!!

白根の豊かな里づくり推進協議会解散へ...

5月12日(日)に第37回定期総会が開催されました。総会では令和5年度の活動承認と令和6年度の活動計画などが承認されましたが、併せて当協議会の解散について提案され令和8年度中に解散することが決まりました。

里づくり推進協議会は昭和62年に地域特性を生かした豊かで住みよい地域社会をつくるため設立され、もろこし生産などの取り組みにより地区の活性化に大きな役割を果たしました。しかし近年の急激な高齢化により「限界集落」となり、これまで取り組んできた取り組みが出来ない状態となっていることから、残念ながら判断がされたところです。

2年後の令和8年度には解散となりますが、39年にわたり当協議会が行ってきた数々の取り組みは大きな意義がありますし、今後も続けていく取り組みもあると思います。

残された期間について、引き続き地区民のご理解とご協力をお願いいたします。



雁形山交流春登山(4月29日)

恒例の「春の雁形山交流登山」が開催され、地区内外から50名が参加しました。

参加者は絶好の天候の下、ワラビやコシアブラなど山菜を採りながら登山を楽しみました。

下山後は、弥平ふるさと館でもろこし餅やもろこし焼酎が当たる抽選会が行われ、参加者の交流がはかられました。



地域ぐるみでニホンザルの被害を防ぎましょう!

『野生鳥獣被害防止地域づくり事業』

白根の里に頻繁に猿が出没し、農作物などへの被害が多発しています。それに対し追い払い花火や柵設置などの対策は行っていますが、あまり効果がないようです。

そこで、この度、福島県の補助事業を活用してニホンザルの被害対策を行うこととなりました。

ズバリそのキーワードは「**地域ぐるみ**」です。

地域の皆様もこの取り組みに是非ご協力をお願いします。

■ 取り組みの内容（白根に一番合う取り組みを選択）

- その1 各町内会から対策委員を選出（1～2名）
- その2 専門家を派遣いただき現地に有効な対策を検討
- その3 サル対策を地域全体で学習する。
- その4 白根に有効な取組みを地域全体で取り組む
 - ①生活環境被害駆除（電気柵やワイヤーフェンス）
 - ②集落環境整備（放任果樹の伐採、藪の刈り払い）
 - ③捕獲体制の整備（箱罠整備など）



世界で一つだけの作品！ イイね!!

弥平塾陶芸教室

昨年の10月から始まった、第2回弥平塾陶芸教室は、今回も暮田寛さんの御指導の下、10名の参加者で楽しく開催されました。

3月24日には参加者の作品が完成し、ふるさと館でそれぞれの作品をお互いにお披露目を行い完成を祝いました。

どこにも同じものがない自分だけの作品、ナイスです！



おひさまカフェでほっと一息!! (4月24日)

気軽に話ししながら、認知症について語りあうおひさまカフェが開催され、約30人が参加しました。

寸劇などで認知症を学びつつ、ほっと一息つける楽しいひとときを過ごしました。



【広報委員会】谷口信高・佐藤孝之・齋藤昭一・三浦和也

情報はこちらまで 電話090-6785-9001 【谷口】